

## ○児童推計及び量の見込みと確保方策の見直しについて

## 1. 児童推計の見直しについて

本計画の児童推計は、「流山市総合計画」の人口推計をベースとしています。

現在、次期の総合計画の策定準備を進めているところですが、人口推計が秋頃に策定する動きがあるため、そちらの動向を見ながら、本計画の児童推計の見直しを行っていきたいと考えています。

つきましては、前回お示ししましたスケジュールが変更となります。(資料3のとおり)

## 2. 量の見込みと確保方策の方向性について

「教育・保育の量」及び「地域子ども・子育て支援事業」については、計画の策定時は、ニーズ調査を基に、量の見込み数を算出していましたが、国の考え方と同様に、実績値をベースに算出していきたいと考えています。

## (1) 教育・保育の量

国の考え方と同様に、以下のとおりの考え方で見直しを行っていきたいと考えています。

なお、前回同様、4地区の見込みも算出していきます。

## 《計算式》

「補正後の推計児童数」×「支給認定割合」＝「見直し後の量の見込み(人)」



## ① 1号認定子ども

補正後の1号認定子どもの割合

＝(1号認定子どもの実績値－女性の就業増加に伴う補正值)÷(実績値に用いた時点の3歳以上の小学校就学前子ども数)

## &lt; 1号認定子どもの実績値 &gt;

	1号認定子ども	幼稚園	合計
平成27年	88人	3,229人	3,317人
平成28年	84人	3,259人	3,343人

\*本市の私立幼稚園は、新制度に移行していないため、認定数に園児数を追加しています。

② 2号認定子ども

補正後の2号認定子どもの割合

$$= (2号認定子どもの実績値 + 認定事由に基づく補正值) \div (実績値に用いた時点の3歳以上の小学校就学前子ども数)$$

< 2号認定子どもの実績値 >

	2号認定子ども
平成27年	1,791人
平成28年	2,144人
平成29年	2,376人

③ 3号認定子ども

補正後の3号認定子どもの割合

$$= (3号認定子どもの実績値 + 認定事由に基づく補正值) \div (実績値に用いた時点の3歳未満の小学校就学前子ども数)$$

< 3号認定子どもの実績値 >

	3号認定子ども
平成27年	1,495人
平成28年	1,873人
平成29年	2,355人

◎ 子どもの人数

- ・ 3歳未満の小学校就学前子ども数の実績値

	3歳未満の子ども数	0歳	1歳	2歳
平成27年	5,382人	1,760人	1,809人	1,813人
平成28年	5,778人	1,895人	2,020人	1,863人
平成29年	6,240人	1,959人	2,140人	2,141人

- ・ 3歳以上の小学校就学前子ども数の実績値

	3歳以上の子ども数	3歳	4歳	5歳
平成27年	5,356人	1,814人	1,804人	1,738人
平成28年	5,614人	1,892人	1,894人	1,828人
平成29年	5,869人	1,965人	1,950人	1,954人

#### ☆補正值の取扱いについて

①～③ともに、必要に応じて、補正值を加味することとなっているため、女性の就業率や保育所等利用率の実績値を考慮しながら、算出していきたいと考えています。

#### (2) 地域子ども・子育て支援事業

##### ①学童クラブ

学童クラブは、利用実績や学童クラブの整備状況を踏まえ、地域の実情に応じて、量の見込みを算出します。

なお、前回同様、4地区の量の見込みと確保方策を算出します。

##### ②延長保育事業及び病児保育事業

保育所等や病児保育事業の整備数の拡大に応じ、量の見込みを算出します。

##### ③一時預かり事業

一時保育の拡大や、利用実績等から予測される利用する家庭タイプの割合、専業主婦（主夫）家庭等の増減見込み、実際の利用状況等を踏まえ、量の見込みを算出します。

##### ④上記以外の地域子ども・子育て支援事業

事業の実施状況や利用状況等を照らし、必要に応じて見直しを行い、量の見込みを算出します。

#### (3) 障害児に対する障害福祉サービスの見込量の確保の方法

障害児計画の策定については、「流山市福祉施策審議会」で議論を行っている状況です。現在、見込量を推計している段階であるため、量の見込みに関しては、今後、協議予定になっています。

つきましては、審議の動向をみながら、可能な範囲で情報提供を行っていきます。